

○古代エジプト文明を研究する「エジプト学」が専門です。この学問を学べる大学は国内に数えるほどしかありません。

○日本で考古学、英国でエジプト学を学び、以前は東京の古代オリエント博物館で学芸員をしていました。

○エジプトの遺跡調査や遺物の研究、古代エジプト展の監修などを行っています。

○私の研究室では、人間が創り出すさまざまなモノを通して国際文化を考えていきます。古代エジプトはもちろんのこと、現代のファッションやインテリア、料理などテーマは多彩です。

3年4年の仲が良く、学外活動も盛ん。勉強や就職、その他いろいろ、先輩から後輩へのアドバイスも豊富で、アットホームで充実した時間を過ごせるゼミです。



テーマ:「モノ」を通して、時代を生き抜く豊かな「想像力」と「創造力」を身につける

【どのような人に向いているゼミ?】

「好奇心が強く、いろんなことに興味がある人」に向いていて、逆に「これしか興味がなく、話すのが好きでない」人にはちょっと向いていないと思います。さまざまなテーマを持ったメンバーが集まって授業ではカバーできない知識を共有したり、みんなで体験したりすることを重視するゼミです。ファッションやクラシック音楽、方言、災害復興支援、映画の効果音、外国人観光客などテーマはバラバラ。もちろんエジプトもありで、大学院で教えた学生の1人は、博士号を取って他大学で教員をしています。ゼミの指導方針は、卒業後にどんな人生を歩むとしても一番役に立つ、「物事を表面的に見るのではなく、中身を深く考える体験」を多く経験してもらうことです。

毎回、色々なテーマでやり取りをするのが(いつの間にか)就職面接の予行練習になっている? からか、銀行やホテル、商社、自動車、百貨店、空港、旅行、公務員、アパレル、イギリス留学後に世界的企業に入った人など就職先は多彩で、「好きなことを思い切り研究してもらい、夢を叶えてもらう」のが教員として一番の喜びです。

ゼミ最大の特徴は「3年4年の仲が良い」ことですが、背景には「まずはやってみる」をモットーに興味があることを学外へ観に行ったり、世の中のトレンドを探るため、栄や大須でフィールドワークをしたりと「色々な体験を共有する」ことがあります。その手のことを楽しめる人には、きっと充実した2年間を過ごせるゼミだと思います。

【面談に際しての注意事項】

現在、役職担当で会議や打ち合わせが多いため、希望の日時をいくつか記したメールを下さい。有難いことに内定解禁前は人が増えて時間も限られてしまうため、関心がある人には早めの連絡をオススメします(特に1週目はまだ様子見の人が多くてもその方がじっくり話せてゼミに合うか合わないかもよくわかる)です。いろいろな話を聞かせてもらうのを楽しみにしています! tnakano@fsc.chubu.ac.jp